

機関名：農林水産省

No.	具体的取組	実施状況・今後の課題
重点課題1 「陸域に由来する赤土等の土砂及び栄養塩等への対策の推進」における取組		
1	<p>【水質保全対策事業】</p> <p>○水質保全施設整備 水資源の総合的な保全に資することを目的とし、農業用排水施設から公共用水域へ排出される排水の水質浄化を図り、農村地域の環境保全及び農業利水に適切に対処するとともに、農地（休耕田）や水生生物の有する自然浄化機能の活用、接触酸化水路、曝気施設等の浄化水路等の整備を実施します。</p> <p>○耕土流出防止施設整備 侵食を受けやすい特殊土壌が広範に分布している沖縄県及び奄美群島地域において、農用地及びその周辺の土壌の流出を防止し、農村地域の環境保全に資することを目的として、承水路や沈砂池等の整備、勾配抑制、法面保護、土層改良、暗渠排水、既存施設の軽微な変更等を実施します。</p>	<p>○水質保全施設整備 海域の環境保全のために、農業用排水施設内の水質浄化を図る必要がある際には、自然浄化機能の活用、接触酸化水路、曝気施設等の浄化水路等の整備を図る。</p> <p>○耕土流出防止施設整備 農用地及びその周辺の土壌の流出を防止するため、農地等の発生源対策として承水路、沈砂池等の整備や、勾配抑制、グリーンベルト等の植生保護を、令和2年度は沖縄県で12地区、鹿児島県で1地区で実施している。 今後とも、農用地及びその周辺の土壌の流出低減に向け、関係自治体や営農者と連携して営農での取組とともに本事業を推進していく。</p>
2	<p>【多面的機能支払交付金（うち資源向上支払）】</p> <p>地域住民を含む組織が取り組む水路、農道等の軽微な補修や植栽による景観形成など農村環境の良好な保全を始めとする地域資源の質的向上を図る共同活動、施設の長寿命化のための活動を支援します。このうち耕土流出対策としては、グリーンベルトの設置による耕土流出防止の取組等を支援します。</p>	<p>令和元年度は、耕土流出防止対策として、グリーンベルトの設置や沈砂池の適正管理等の取組を、鹿児島県の5町15組織及び沖縄県の9市町村19組織において実施した。 今後とも、本交付金を活用した耕土流出防止対策の取組の推進等により、沿岸海域の良好な環境の保全に向けた取組を支援してまいりたい。</p>
3	<p>【農業集落排水事業】</p> <p>生活排水等による水産動植物の生育環境の悪化に対しては、集落排水施設などの整備を通じた陸上からの水質負荷低減に取り組みます。</p>	<p>陸域に由来する栄養塩等への対策を推進するため、農業集落排水事業の実施により、農業集落排水施設の未整備地域の整備を促進するとともに、老朽化施設の更新整備や高度処理の導入の促進について、関係機関の連携のもと推進しているところ。 農業集落排水施設は、令和元年度までに全国で約5,000施設が供用されており、令和元年度は全国約230箇所を整備を実施した。 陸上からの水質負荷低減に向け、今後とも農業集落排水施設の普及、更新整備及び高度処理の導入について、関係自治体と連携して推進する。</p>

重点課題2「サンゴ礁生態系における持続可能なツーリズムの推進」における取組		
1	<p>【地域主体のサンゴ礁保全対策の支援】</p> <p>○水産多面的機能発揮対策事業</p> <p>漁業者等が行う水産業・漁村の持つ多面的機能の発揮に資するサンゴ礁の保全など地域の活動を支援します。</p>	<p>水産業・漁村の活性化を図ることを目的に、水産業・漁村が持つ多面的機能の発揮に資する地域の活動支援の一環として、サンゴ礁の保全活動を支援している。</p> <p>具体的には、令和2年度では高知県2件、鹿児島県2件・沖縄県5件等において、サンゴの移植、食害生物の除去、浮遊・堆積物の除去等の活動への支援を実施している。</p>
重点課題3「地域の暮らしとサンゴ礁生態系のつながりの構築」における取組		
1		
その他（※3重点課題に該当しないがサンゴ礁保全行動計画2016-2020の趣旨を踏まえ、サンゴ礁生態系保全に対応する取組を予定している場合又は行った場合に記載する。）		
1	<p>【サンゴ礁の面的な保全・回復技術の開発・実証】</p> <p>○厳しい環境条件下におけるサンゴ礁の面的保全・回復技術開発実証事業</p> <p>漁場環境の保全の観点から、大規模に衰退したサンゴの効率的・効果的な保全・回復を図るため、サンゴ礁の面的な保全・回復技術の開発・実証を行い、事業展開に向けた計画・実施手法を早急に確立することを目指します。</p>	<p>本事業は平成30年度～令和7年度の8年間の事業である。</p> <p>浮遊幼生の移動特性を踏まえた効果的な基盤の配置手法や、サンゴ幼生供給基盤と供給規模を拡大する技術及びサンゴ幼生着床・育成基盤と着床率を向上させる技術の開発・実証を行っている。また、移植サンゴの成長阻害要因対策手法の開発・実証や、ICT技術を活用したサンゴの被度・計測技術の開発を行っている。</p> <p>さらに、海洋環境等の変化に強いサンゴ種の増殖手法及び高温耐性型サンゴの種苗生産技術を開発している。</p> <p>今後も引き続きサンゴ礁の面的な保全・回復技術の開発・実証に取り組む。</p>